

令和2年度 津田中学校 学校評価

| 自己評価 | | | |
|-----------|--|---|---|
| | 重点目標 | 活動計画 | 評価指標 |
| 学習指導 | <p>1. 「わかる授業」の実践や言語活動の充実を図ることにより、「確かな学力」の習得を図る。</p> <p>2. 生徒の学習習慣の確立と学習方法の習得を図り、主体的に学習に取り組む態度を育成する。</p> | <p>1. 学力向上実行プランを基に、「わかる授業」構築のため、「学習のめあて」等を示し、グループ学習・ICTの活用などを通して、目的に応じた表現活動を取り入れる。</p> <p>2. 家庭での学習課題のやり方を学校ホームページを活用して説明する。また、定期テスト期間や長期休業中には学習記録をつけさせることで、より家庭学習の充実を図る。</p> | <p>1-①. 「授業がわかる」と答える生徒が80%以上となる。</p> <p>1-②. 自分の考えの根拠を明確にして「書いたり話したり」する生徒が60%以上となる。</p> <p>2. 「家庭学習が習慣化している」と答える生徒・保護者が80%以上となる。</p> |
| 生徒指導 | <p>1. 自ら進んでする自発的なあいさつの定着を図る。</p> <p>2. いじめの予防・早期発見・生徒理解を深め、相談体制を確立する。</p> | <p>1. 教職員や生徒会役員によるあいさつ運動を実践する。</p> <p>2. 学校生活アンケートやチェックシートの活用、スクールカウンセラーとの連携により生徒理解を深め、相談しやすい組織・環境の整備に努める。</p> | <p>1. 「自ら進んで、あいさつがきちんとできている」と答える生徒・保護者・教員が80%以上となる。</p> <p>2. いじめ予防の啓発と相談しやすい体制・組織が確立できる。スクールカウンセラーとの連携を密にし、情報を共有し、事前予防ができる。</p> |
| 道徳・人権教育 | <p>1. 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分がある事に感謝し、行動や言葉を通じてそれに答えられる生徒を育てる。</p> <p>2. 自他の人権を尊重し、民主的な社会を築く実践力を身につけた生徒を育てる。</p> | <p>1. 道徳の時間において、思いやりや感謝の心をはぐくみ、自分の言葉で相手に伝える実践力を育てる指導内容・方法の工夫・改善を図る。</p> <p>2. 「津田中生みんなが幸せになる」ために自他を尊重しようとする態度を育成する人権学習を進める。</p> | <p>1. 「ありがとう・すいません」などの言葉をきちんと相手に伝えることができたと答える生徒が90%以上となる。</p> <p>2. 自他の人権を尊重しようとする意欲をもち「実践できた」と答える生徒が90%以上となる。</p> |
| 特別支援教育 | <p>1. 学校生活や学習に困難を有する生徒への理解を深め、適切な支援を計画・実施する。</p> <p>2. 特別支援学級に在籍する生徒の、指導の充実を図る。</p> <p>3. 特別支援教育に関する教職員の理解を深め、校内支援体制を確立する。</p> | <p>1. 保護者との連携を密にし、保護者の思いや願いを受け止めた指導・支援を行う。巡回相談の活用や外部機関との連携を図り、支援の充実を目指す。</p> <p>2. 個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、効果的に活用する。</p> <p>3. 校内支援委員会を適宜開催し、学校全体や学年など、チームとしての支援の充実を図る。</p> | <p>1. 具体的に支援の目標を立てて実行する。引き継ぎシート等、情報を学年・学校で共有する。積極的に外部機関との連携を図る。</p> <p>2. 指導項目の5割はAの評価ができるようにする。</p> <p>3. 校内支援委員会を年間3回以上開催する。学年会を活用して、学年での校内支援をすすめる。</p> |
| 健康・安全指導 | <p>1. 自分の心身の発達に関心を持ち、健康の保持増進に努める。</p> <p>2. 校内の危険箇所の発見・修理により安全な学習環境を保持する。</p> | <p>1. 健康力アップ作戦を基に、生徒自らが健康・生活習慣改善のための課題を考える目標を定めて取り組む。</p> <p>2. 施設・設備の定期点検を行い、危険箇所の早期発見、早期修理に努める。</p> | <p>1. 「心身の健康に気をつけた生活が送れている」と答える生徒が80%以上となる。</p> <p>2. 「校内の危険箇所をすぐに修理してくれている」と答える生徒・教員が90%以上となる。</p> |
| 開かれた学校づくり | <p>1. 学校経営の方針や教育活動の状況について、保護者や地域の方々に説明し、理解と協力を得る。</p> <p>2. 学校・家庭・地域の連携を深める。</p> | <p>1. 積極的に学校開放を行い、教育活動の様子を見てもらったり、学校ホームページや学校・学年だよりによる情報発信を積極的に行ったりする。</p> <p>2. 地域の人材を活用したり、地域の行事等に参加・協力したりする。また、PTAや関係機関と連携・協力を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。</p> | <p>1. 週1回以上ホームページを更新するなどして、「学校の様子がわかる」と答える保護者が80%以上となる。</p> <p>2. 「学校・家庭・地域が連携できている」と答える保護者・教員が80%以上となる。</p> |